

FINANCIAL HISTORY

1944 : DOLLAR : HEGEMONY

ブレトンウッズ体制 --- ドル覇権の誕生

44カ国が集まり、戦後の国際金融秩序を設計した。ドルが世界の基軸通貨となった瞬間。

投資と思考の書齋

<https://anni-memo.github.io/investment-library/>

WHAT HAPPENED

何が起きたか --- 新しい世界金融秩序の設計

1944年7月、第二次世界大戦の終結が見えてきた頃、44カ国の代表がアメリカ・ニューハンプシャー州ブレトンウッズのマウントワシントン・ホテルに集結した。

目的は、戦後の国際金融秩序をゼロから設計すること。会議は3週間にわたり、歴史上最も重要な経済協定の一つが生まれた。

合意の骨格はこうだ。ドルだけが金と交換可能（1オンス＝35ドル）とし、各国通貨はドルに対して固定相場で連動させる。国際収支の調整を支援するIMF（国際通貨基金）と、戦後復興を融資する世界銀行（IBRD）を設立する。

アメリカは当時、世界の金準備の約3分の2を保有していた。ドルを中心に据えるのは、力の現実を反映した必然だった。

WHY IT WAS NEEDED

なぜ必要だったか --- 二度の大戦と大恐慌の教訓

ブレトンウッズ体制が生まれた背景には、20世紀前半の悲惨な経験があった。

- 通貨切り下げ競争 --- 1930年代、各国が自国通貨を競って切り下げ、輸出を有利にしようとした。結果は「近隣窮乏化政策」の連鎖
- 貿易の崩壊 --- 関税と為替の不安定が国際貿易を破壊し、大恐慌を深刻化させた
- 政治的帰結 --- 経済危機は社会不安を招き、ファシズムの台頭と世界大戦につながった

安定した国際金融秩序なくして、平和も繁栄もありえない。これがブレトンウッズに集まった代表たちの共通認識だった。

TWO VISIONS

ケインズ案 vs ホワイト案 --- 二つの構想の対決

ブレトンウッズ会議では、二つの対照的な構想がぶつかった。

イギリスの代表ケインズは、「バンコール」という超国家的な準備通貨を提案した。特定の国の通貨に依存しない、中立的な国際決済システムだ。赤字国だけでなく黒字国にも調整義務を課す、対称的な仕組みだった。

アメリカの代表ハリー・デクスター・ホワイトは、ドルを中心に据えた体制を主張した。当時の経済力・軍事力で圧倒的優位にあったアメリカの立場が反映された案だ。

結果として採用されたのはホワイト案だった。超大国アメリカの力が、国際秩序の設計そのものに刻まれた瞬間だった。

ケインズの「バンコール」構想は実現しなかったが、その発想は今も生きている。SDR（特別引出権）やデジタル通貨の議論の中に、「特定国に依存しない国際通貨」というアイデアは繰り返し現れる。

WHAT CHANGED

何が変わったか --- ドル覇権と戦後の繁栄

ブレトンウッズ体制は、戦後の世界経済に安定と繁栄をもたらした。

- 為替の安定 --- 固定相場制により為替リスクが大幅に低減。国際貿易が急速に回復・拡大
- ドルの特権 --- 基軸通貨国アメリカは、自国通貨で国際取引を行えるという「法外な特権」を得た
- IMFの調整機能 --- 国際収支の不均衡を融資と為替レート調整で管理する仕組みが確立
- 世界銀行の復興支援 --- 戦後ヨーロッパと日本の復興に融資が流れた

1944年から1971年までの27年間、世界経済は記録的な成長を遂げた。この「黄金時代」を支えたのが、ブレトンウッズ体制だった。

ROAD TO COLLAPSE

崩壊への道 --- トリフィンのジレンマ

ブレトンウッズ体制には、構造的な矛盾が内在していた。経済学者ロバート・トリフィンが1960年に指摘した「トリフィンのジレンマ」だ。

世界経済が成長するためには、国際取引に必要なドルの供給量が増えなければならない。しかしドルの供給を増やすということは、アメリカの対外赤字が拡大するということだ。赤字が拡大すれば、ドルと金の交換を維持できるかという信認が揺らぐ。

1960年代、ベトナム戦争の戦費とジョンソン大統領の「偉大な社会」計画がアメリカの財政を圧迫。ドルの信認は徐々に低下し、各国は保有するドルを金に交換し始めた。

1971年8月15日、ニクソン大統領がドルと金の交換を停止。ブレトンウッズ体制は27年の歴史に幕を閉じた。

KEY TERMS

関連用語

固定相場制

- 各国通貨の交換比率を一定に固定する制度

基軸通貨

- 国際取引や外貨準備の中心となる通貨

IMF

- 国際通貨基金。国際収支の安定と為替制度の監視を担う

世界銀行

- 開発途上国への融資・支援を行う国際機関

金ドル本位制

- ドルのみが金と交換可能で、他の通貨はドルに連動する制度

ケインズ案 vs ホワイト案

- ブレトンウッズ会議で対立した二つの国際通貨構想

投資と思考の書齋

<https://anni-memo.github.io/investment-library/>

投資は自己責任です。このサイトの内容は情報提供を目的とし、投資助言ではありません。